

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	支援学校 職業コース
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	・職業コース生徒数の増加 ・生徒の授業満足度の向上 ・保護者の学校評価向上
計画名	西浦支援 夢のお仕事プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	2 キャリア教育の充実 (2) 地域のリソースを有効に活用することで作業学習や職業コースの授業の充実を図り、関係機関や商業施設、地域事業所等と協働した事業の創設をめざす。
事業目標	本事業を活用し、水耕栽培を導入することでより強力に本校の教育力向上をめざす。 体育館1階の屋内作業室内に水耕栽培設備を導入し、年間を通じて作物を栽培、収穫するシステムを構築することにより、天候に左右されずにより安全に実習を行い、生徒の自立支援を促進する。水耕栽培を活用することで定期的に作物を収穫することができ、学校行事、駅前や道の駅での定期的な販売実習に取り組み、生産から消費者に手渡すまでの過程をトータルで学び、同時に本校生徒が地域住民に対し貢献できることを示す。 他に、以下の3つの効果が期待できる。 ①生徒一人ひとりが種の植え付けから収穫までを一貫して行うことで、直接作物の生産から成功体験や失敗体験（丁寧に作業することで作物が収穫できること、作業が雑になれば作物は枯れること）を経験し、生徒の目標設定と課題解決に対する取り組みについての理解を促進する。 ②生徒一人ひとりの実態に応じた授業のスタイルを構築できる。 ③社会に対して、新しい障がい者雇用の形を提示できる。適切な環境があれば、障がいのある人も様々な職種での就労が可能であることを示すことができる。 取組みの様子は随時ホームページや「学部通信」にて学校の内外に発信していく。取組みを全校的に発信していくことで、小・中学部の児童生徒に対し、就労に対する意欲向上をはかり、学校全体のキャリア教育力向上にも寄与できる。
整備した 設備・物品(数量)	水耕栽培キット8式（体育館1階更衣室）
取組みの 主担・実施者	主担：高等部実習担当教員 取組みの実践者：実習担当教員。職業コース担当教員。販売学習は高等部全教員。
本年度の 取組内容	①職業コースでは、3つの実習内容（農園芸、清掃、喫茶）に取り組んできた。特に農園芸では、水耕栽培の前段階として植物を育成する学習で、苗（マーガレット、スターチリ、クリサンセマム、アリッサム）をプランターに移し替える作業に取り組んだ。秋頃には植え替えをしたものの管理（枯れた花を間引き、溶液を与える。咲いている花の数、間引いた花の数を正確に数え、記録する）を行い、春口まで花を咲かせ続けることができた。それらを使用し、卒業式にて花道を作ることもできた。 ②路地で行った植物の育成管理の経験をもとに、簡易な水耕栽培としてプラスチックカップでの栽培を行った。ペットボトルを切り、3cm角に切ったスポンジに水を十分含ませカップの中に入れ、その上にミックスレタスの種を置き、暗室にて保管し発芽させた。その後、培養液をカップに入れ日の当たるところで培養液が一定の水位を保つように管理し栽培した。この簡易版の水耕栽培での取り組みについては、職業コースで一定の成果を上げることができたので、来年度は、職業コース以外の生徒が参加できるようにするために、今回のプラスチックカップ水耕栽培を参考にし、来年度本格導入する水耕栽培キットの作業内容を可能な限り簡素にし、障がいの程度が重度な生徒であっても、農作物の栽培と収穫の行程に触れることで働く喜びを得られるようにする。また来年度は農園芸で栽培収穫した野菜を使用し、西浦フェスティバルや運動会などでの販売学習につなげ、喫茶ではそれらを使用した商品開発に取り組む。 ③職業コースの取組みを新聞にて発信した。生徒と保護者の学校満足度向上のために、来年度は進路部と連携し生徒への進路学習や保護者への進路説明会を充実させる。保護者に授業中の生徒の様子が分かる仕組みを整えることで、授業内容が生徒の実態に合った幅広い進路選択の可能性を高める進路指導につなげていく。
成果の検証方法 と評価指標	生徒の授業アンケート：肯定的な意見（実習についての「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」の合計）を65%以上にする。 ⇒今年度は、水耕栽培キット設置ができなかったため実施せず。 保護者の学校評価：肯定的な意見（下記の内容の「A:よくあてはまる」「B:ややあてはまる」の合計）を50%以上にする。 ⇒【学校教育自己診断】の「学校は特色ある教育活動に取り組んでいる」「学校の将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の質問項目の結果を代用する。
自己評価	①当初予想していた20名という人数を大幅に超える33名で2学期より職業コースを立ち上げた。学習内容としては、実習（農園芸、喫茶、清掃）、座学（一日の振り返り、進路学習、面接練習、校外実習事前事後学習、卒後の日常生活に関する学習）を行い、職業コースのみで校外学習（たまたわ高等支援学校見学）も行った。（◎） ②職業コースの実習内容である農園芸にて、水耕栽培への基礎となる露地栽培（苗のプランターへの植え替えと管理）と、プラスチックカップ水耕栽培に取り組んだ。3月4日に行われた卒業式に花を添えることができた。（○） ③生徒の授業満足度アンケートについては、今年度水耕栽培キット設置ができなかったため実施せず。（×） ④保護者の学校評価アンケートについては、【学校教育自己診断】を代用し「学校は特色のある教育活動に取り組んでいる。」と「学校の将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の2つの質問の結果は肯定50%であった。（△）
次年度に向けて	①生徒数の増加に伴い、職業コースの参加人数は50名を見込んでいる。 ②水耕栽培キットを職業コースの生徒だけにとどまらず、高等部全体で取り組む。 ③④生徒の授業満足度と保護者の学校評価の向上に寄与すべく、進路学習や進路説明会を充実させる。